

企業のコンプライアンスを支える 飲酒運転防止対策

アルコールの1単位=純アルコール20gを含む酒量
分解にかかる時間は約4時間

500ml ビール アルコール度 5%	1合180ml 日本酒 アルコール度 15%	ダブル1杯 60ml ウイスキー アルコール度 43%
小グラス2杯200ml ワイン アルコール度 12%	350ml チューハイ アルコール度 7%	コップ半分100ml 焼酎 アルコール度 25%

出典: アルコール薬物問題全国市民協会(ASK)

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

アルコールが分解さ
れる時間は、飲酒量と
体質に左右される。例
えば、体重60kgの人
が中ジョッキ1杯(5
00ミリ liter・1単位)の
ビールを分解するには
4時間かかるといわ
れている。2~3杯の飲
酒ならば、比例して分
解時間が増えていくの
で、8~12時間かかる計
算だ。夜遅くまで飲酒
し、翌日早朝から自動
車を運転する場合、体内
にアルコールが残つて
いる可能性は高い。

「まさか自分が飲酒
運転をしていたなんて」
以上に時間が必要

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

アルコールが分解さ
れる時間は、飲酒量と
体質に左右される。例
えば、体重60kgの人
が中ジョッキ1杯(5
00ミリ liter・1単位)の
ビールを分解するには
4時間かかるといわ
れている。2~3杯の飲
酒ならば、比例して分
解時間が増えていくの
で、8~12時間かかる計
算だ。夜遅くまで飲酒
し、翌日早朝から自動
車を運転する場合、体内
にアルコールが残つて
いる可能性は高い。

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

アルコールが分解さ
れる時間は、飲酒量と
体質に左右される。例
えば、体重60kgの人
が中ジョッキ1杯(5
00ミリ liter・1単位)の
ビールを分解するには
4時間かかるといわ
れている。2~3杯の飲
酒ならば、比例して分
解時間が増えていくの
で、8~12時間かかる計
算だ。夜遅くまで飲酒
し、翌日早朝から自動
車を運転する場合、体内
にアルコールが残つて
いる可能性は高い。

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

アルコールが分解さ
れる時間は、飲酒量と
体質に左右される。例
えば、体重60kgの人
が中ジョッキ1杯(5
00ミリ liter・1単位)の
ビールを分解するには
4時間かかるといわ
れている。2~3杯の飲
酒ならば、比例して分
解時間が増えていくの
で、8~12時間かかる計
算だ。夜遅くまで飲酒
し、翌日早朝から自動
車を運転する場合、体内
にアルコールが残つて
いる可能性は高い。

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

燃料電池センサーで高精度、 レンタル方式で安価

11年改正の道路交通
法で、国土交通省は運
送事業者に対し、運転
者のアルコールチェック
を義務づけている。
ただ、一般企業にはそ
うした義務はない。前
日に飲んだアルコール
が中ジョッキ1杯(5
00ミリ liter・1単位)の
ビールを分解するには
4時間かかるといわ
れている。2~3杯の飲
酒ならば、比例して分
解時間が増えていくの
で、8~12時間かかる計
算だ。夜遅くまで飲酒
し、翌日早朝から自動
車を運転する場合、体内
にアルコールが残つて
いる可能性は高い。

“まさか自分が飲酒
運転をしていたなんて”
以上に時間が必要

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

アルコールが分解さ
れる時間は、飲酒量と
体質に左右される。例
えば、体重60kgの人
が中ジョッキ1杯(5
00ミリ liter・1単位)の
ビールを分解するには
4時間かかるといわ
れている。2~3杯の飲
酒ならば、比例して分
解時間が増えていくの
で、8~12時間かかる計
算だ。夜遅くまで飲酒
し、翌日早朝から自動
車を運転する場合、体内
にアルコールが残つて
いる可能性は高い。

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

アルコールが分解さ
れる時間は、飲酒量と
体質に左右される。例
えば、体重60kgの人
が中ジョッキ1杯(5
00ミリ liter・1単位)の
ビールを分解するには
4時間かかるといわ
れている。2~3杯の飲
酒ならば、比例して分
解時間が増えていくの
で、8~12時間かかる計
算だ。夜遅くまで飲酒
し、翌日早朝から自動
車を運転する場合、体内
にアルコールが残つて
いる可能性は高い。

“寝れば翌朝には体
内からアルコールは抜
けている”という誤っ
た認識が、重大な事態
を引き起こす危険性が
ある。自動車を運転す
る場合、呼気中のアル
コール濃度が0・15ミ
リグラム/リットルを超えると酒気
帯び運転とみなされ
る。これは、さまざま
な命が危険にさら
される可能性があるこ
とを意味する。自分自
身が危険にさらされる
だけではない。被害
者、家族、同僚、そして
企業生命さえ脅かす。

同機種は、電源とメ
モリーボタンのみとい
うシンプル操作が特徴
のハンディタイプで、
1人15秒程度と短時間
で測定可能だ。対応測
定回数によってレンタ
ル料金は変わり、50
0回モデルで1万50
0円/年、2000
回モデルで2万円/年
(いずれも消費税抜き)
と、高精度な燃料電池
センサー搭載のアル
コール検知器を安価に
導入できる。

全国市民協会(ASK)
認定の飲酒運転防止イ
ンストラクターでもあ
るタニタライフソ
リューション営業部の
飯島岳司氏は「『寝れば
翌朝には大丈夫』は誤
認識。数値ではかつて
現状を確認すべきだ」と
提言する。同社のレ
ンタルシステムは見過
ぎしがちな飲酒運転の
芽を未然に摘み、企業
と人命の安全を守る一
助となりそうだ。

政府が提倡する働き
方改革の推進により、
労働生産性向上を目的
とした長時間労働の是
正やリモートワークの
実現など、各企業で取
組みが進んでいる。出
社・帰社にかかる時
間のロスをなくすた
め、営業車による“直
行直帰”を推奨するあ
る企業では、個人での
アルコールチェックに信
頼の低下など、目に見
えない損害はばかり知
れない。

もし、業務中に酒気
帯び運転で事故を起こ
した場合、企業もさま
ざなりリスクにさらさ
れる。賠償金をはじ
め、企業イメージや信
頼の低下など、目に見
えない損害はばかり知
れない。

タニタ(東京都板橋
区、谷田千里社長)は、
こうした事態の防止策
として、一般企業にお
けるアルコールチェック
の実施を呼びかけて
おり、導入が容易な
「アルコール検知器レ
ンタルシステム」を提
案している。同社のア
ルコール検知器「アル
プロFC-1900」を、イニシャルコスト
を抑えながら導入でき
るサービスだ。

同機種は、電源とメ
モリーボタンのみとい
うシンプル操作が特徴
のハンディタイプで、
1人15秒程度と短時間
で測定可能だ。対応測
定回数によってレンタ
ル料金は変わり、50
0回モデルで1万50
0円/年、2000
回モデルで2万円/年
(いずれも消費税抜き)
と、高精度な燃料電池
センサー搭載のアル
コール検知器を安価に
導入できる。

全国市民協会(ASK)
認定の飲酒運転防止イ
ンストラクターでもあ
るタニタライフソ
リューション営業部の
飯島岳司氏は「『寝れば
翌朝には大丈夫』は誤
認識。数値ではかつて
現状を確認すべきだ」と
提言する。同社のレ
ンタルシステムは見過
ぎしがちな飲酒運転の
芽を未然に摘み、企業
と人命の安全を守る一
助となりそうだ。

17年1月から同機種を
用いたアルコールチ
ェックを実施してい
る。1年が経過した現
在、運転前日の飲酒を
控える意識が根付いて
きているという。こう
した意識を持つことで
健康増進にもつなが
り、企業の生産性向上
に役立つ可能性も高い。

働き方改革に
活用するケースも
あり、営業車による“直
行直帰”を推奨するあ
る企業では、個人での
アルコールチェックに信
頼の低下など、目に見
えない損害はばかり知
れない。

政府が提倡する働き
方改革の推進により、
労働生産性向上を目的
とした長時間労働の是
正やリモートワークの
実現など、各企業で取
組みが進んでいる。出
社・帰社にかかる時
間のロスをなくすた
め、営業車による“直
行直帰”を推奨するあ
る企業では、個人での
アルコールチェックに信
頼の低下など、目に見
えない損害はばかり知
れない。

タニタ(東京都板橋
区、谷田千里社長)は、
こうした事態の防止策
として、一般企業にお
けるアルコールチェック
の実施を呼びかけて
おり、導入が容易な
「アルコール検知器レ
ンタルシステム」を提
案している。同社のア
ルコール検知器「アル
プロFC-1900」を、イニシャルコスト
を抑えながら導入でき
るサービスだ。

同機種は、電源とメ
モリーボタンのみとい
うシンプル操作が特徴
のハンディタイプで、
1人15秒程度と短時間
で測定可能だ。対応測
定回数によってレンタ
ル料金は変わり、50
0回モデルで1万50
0円/年、2000
回モデルで2万円/年
(いずれも消費税抜き)
と、高精度な燃料電池
センサー搭載のアル
コール検知器を安価に
導入できる。

全国市民協会(ASK)
認定の飲酒運転防止イ
ンストラクターでもあ
るタニタライフソ
リューション営業部の
飯島岳司氏は「『寝れば
翌朝には大丈夫』は誤
認識。数値ではかつて
現状を確認すべきだ」と
提言する。同社のレ
ンタルシステムは見過
ぎしがちな飲酒運転の
芽を未然に摘み、企業
と人命の安全を守る一
助となりそうだ。

アルコール検知器の導入進む

飲酒運転に対する社会の見方が一段と厳しくなってきている。2011年の「旅客自動車運送事業運輸規則及び貨物自動車運送事業輸送安全規則の一部改正」によって、自動車運送事業者は点呼時のアルコールチェックが義務づけられた。一方で、義務化されていないものの、営業車をはじめとする社用車を使って活動する一般企業にとつても、業務中の飲酒運転がもたらすリスクは決して小さくない。しかし、ドライバー本人に「体内にアルコールが残っている」という自覚がない場合、未然に防止することは困難だ。そこで、手軽に呼気中のアルコール濃度を測定できる「アルコール検知器」が注目されている。低コストで導入ができるレンタル方式のサービスも登場。これを活用し、一般企業においてもアルコールチェックの運用を進める企業が出始めている。



アルコールチェック後にカギを受け取り、飲酒運転を防止